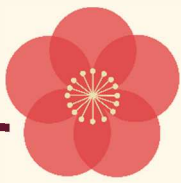


環境像

みんなで育む 水とみどりにつまれたまち
ながはま

令和6年3月改定
平成31年3月策定
長浜市



環境基本計画とは

環境基本計画は、長浜市環境基本条例に基づき、長浜市の環境を保全するための取組を、総合的かつ計画的に推進するための計画です。

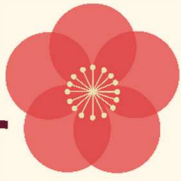
● 計画期間

2019年度～2028年度

● 計画を推進するために

計画を推進するため、市はP D C Aサイクル（取組の検討、取組実践、進捗状況の点検、取組の評価・見直し、結果の公表）に基づき計画の管理を行います。

また、実践した取組は、年次報告書として整理し、ホームページや「広報ながはま」を通じて公表します。



対象とする環境

対象とする環境は以下のとおりです。

自然環境

- 山林、農地
- 琵琶湖、河川
- 動植物 など

生活環境

- 水、大気環境
- 騒音・振動
- 化学物質 など

快適環境

- 公園、緑地
- 歴史・文化資源
- 景観、美化 など

循環

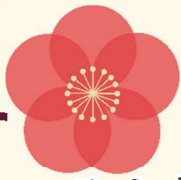
- 資源、バイオマス
- 廃棄物
- 水循環 など

地球環境

- 地球温暖化
- 省エネ など

人づくり

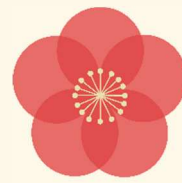
- 環境教育
- 環境学習
- 環境情報 など



めざす環境像

みんなで育む **水とみどり** に
つまれたまち **ながはま**

本市を特徴づける「**水**（琵琶湖や淀川水系の河川など）」や「**みどり**（伊吹山系の山々・里地里山・公園など）」などの多様な環境について、市民・事業者・市のみんなが一丸となって守り、そして未来に向けて育みます。



施策体系

環境像

基本方針

みんなで育む

水

と

みどり

につつまれたまち

ながはま

基本方針 1 自然環境

良好な自然環境の
保全・再生

基本方針 2 生活環境

ひとの健康と安全を守る
生活環境の保全

基本方針 3 快適環境

心豊かな暮らしと文化を育む
快適環境づくり

基本方針 4 循環

もの・水・エネルギーの
循環の創出

基本方針 5 地球環境

地球環境保全への貢献

基本方針 6 人づくり

行動と連携による
長浜エコ人づくりの推進

主な取組

- ① 自然環境の保全・再生推進
- ② 生物多様性の保全・再生推進
- ③ 自然の恵みの持続的な活用推進



- ④ 環境公害防止に向けた継続的な監視
- ⑤ 公害の未然防止



- ⑥ 水とみどりの保全・再生推進
- ⑦ 歴史・文化の保存・活用推進
- ⑧ 景観の保全・創造推進



- ⑨ 3Rの推進
- ⑩ 水循環の保全・再生推進
- ⑪ エネルギーの効率的・有効活用の推進



- ⑫ 地球温暖化緩和策の推進
- ⑬ 地球温暖化適応策の推進



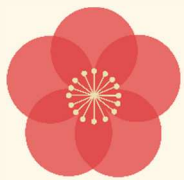
- ⑭ 環境教育・学習の推進
- ⑮ 環境保全を担う人材や団体の育成・支援の推進
- ⑯ 協力体制づくりの推進
- ⑰ 環境情報の収集・発信



重点プロジェクト

6つの基本方針で掲げた取組の中で、特に集中的・重点的に
すすめるものを重点プロジェクトとして設定します。





重点プロジェクト



重点プロジェクトは、本市の現状・課題などを踏まえ、6つの基本方針で掲げた取組の中で特に集中的・重点的にすすめるものを示します。本市では、3つのプロジェクトを設定し、優先的に取り組むことで、計画全体の推進を図ります。

重点1 長浜型ツーリズムプロジェクト

水とみどりを
育む人をつくります

先人たちが守り育んできた本市の自然の恵みをツーリズムとして体験することで、市民や来訪者に本市の自然の大切さや魅力を深く知ってもらおうとともに、森林・川・里・まち・湖のつながりを保全・再生します。

具体的な取組

- 森林・川・里・まち・湖での環境学習・体験の機会の創出
- 長浜型ツーリズムに関する活動支援と関連団体などの連携強化



湖北野鳥センター周辺の水生生物調査

重点2 資源循環システム構築プロジェクト

市内で発生した生ごみの排出抑制・循環利用を推進するとともに、不要物の市民間での融通により、循環型まちづくりの実現をめざします。

具体的な取組

- 食品ロス削減の推進
- リユース、シェアリングエコノミー活動の推進
- ごみ処理施設の効率的稼働

ごみを減らして美しく
豊かな水を守ります



リサイクル工作

重点3 地球温暖化対策推進プロジェクト

節電やエネルギー効率の優れた家電の購入に加え、本市の環境特性を活かした太陽光・バイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギーの導入を推進することで、エネルギーの利用に伴う温室効果ガス排出量を削減し、長浜らしい地球温暖化対策を推進します。

具体的な取組

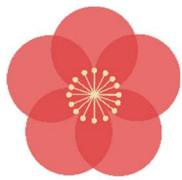
- 省エネルギー対策の推進
- 再生可能エネルギーの推進

豊かな水とみどりを
活用します



薪ボイラー





みんなでできること ～行政編～



自然環境

- ・山林・農地の適切な保全、河川・琵琶湖などの保全をすすめます。
- ・生物の生息・生育状況を把握するとともに、生物の保全・管理、外来生物対策の強化を図ります。また、環境に配慮した農林水産業を推進します。
- ・自然とふれあう場と機会を提供するとともに、農林水産物の地産地消・ブランド化を推進します。

生活環境

- ・水質・大気の保全、騒音・振動の防止、有害化学物質・放射性物質の監視測定など環境公害防止に向けた継続的な監視をすすめます。
- ・不法投棄の防止を図ります。
- ・公害の未然防止に向けて事業所への指導を徹底するとともに、環境保全協定の締結をすすめます。

快適環境

- ・公園・緑地の整備・維持管理をすすめるとともに、親水空間の保全を図ります。
- ・歴史資源や文化財の保存・活用をすすめます。また、市民文化活動を推進します。
- ・市民・事業者・行政の協働による景観まちづくりを推進します。また、地域美化をすすめます。

循環 地球環境

- ・3Rを推進します。
- ・水の適正な利用、水循環を促進します。
- ・省エネルギーの推進、再生可能エネルギーなど環境に配慮したエネルギーの利用を促進します。
- ・地球温暖化対策に向けた行動や市の先導的取組をすすめます。
- ・地球温暖化リスクの把握及び対策の検討・実践、情報発信をすすめます。

人づくり

- ・学校での環境教育や家庭や地域、職場での環境学習の充実を図ります。
- ・長浜市官民パートナーシップや環境関連団体などの育成・支援を推進します。
- ・様々な活動主体間との連携を強化します。また、様々な媒体を活用した環境関連情報の発信をすすめます。

環境にやさしい庁舎

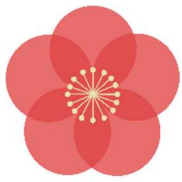
長浜市の旧庁舎は耐震性能の不足やバリアフリーへの未対応など行政運営に支障をきたしていたことから改修を行い、2014（平成26）年に新たな庁舎になりました。

新庁舎は、①災害に強い、市民の安全・安心のシンボルとなる庁舎、②環境にやさしい庁舎、③まちの中心として、市民が親しみやすい庁舎、④東別館を活用して再生する庁舎の4つをコンセプトにしています。

災害時において72時間稼働できる自家発電設備を設置したり、ヒートアイランド現象を和らげる屋上緑化の整備、屋上緑化に散水するよう雨水タンクの設置、マンホール型の仮設トイレが設置できる埋設配管をプロムナード内に設置するなど、環境に配慮した様々な工夫をしています。



屋上緑化の様子



みんなでできること ～市民編～



自然環境

- ・ヨシの保全や自然観察会など、自然を守る活動に積極的に参加しましょう。
- ・自分が所有する山や田んぼ、畑は、間伐や植林、耕作などにより適切に管理しましょう。
- ・ブラックバスなどの外来種は、「長浜市に入れない」「捨てない」「他の地域に拡げない」を守りましょう。
- ・農薬の使用量を減らすなど、環境や生きものに配慮した農業に取り組みましょう。



地引網体験

生活環境

- ・いらない油は布や紙に染み込ませて捨てるなど、家庭排水を適切に処理しましょう。
- ・環境への負荷が少ない自転車や公共交通機関の利用やエコドライブの徹底などにより、日常生活に伴う大気への負荷を軽減しましょう。
- ・家庭ごみの野焼きはやめましょう。
- ・ごみのポイ捨てや家電製品などの不法投棄はせず、適正に処理しましょう。



快適環境

- ・積極的にガーデニングや家庭菜園を行い、敷地のみどりを増やしましょう。
- ・まちなかの公園や街路樹などのみどりについて、市と連携した維持管理を行いましょう。
- ・積極的にまちづくり活動や環境美化活動に参加しましょう。
- ・地域の歴史や文化にふれあうイベントや勉強会に積極的に参加しましょう。



長浜曳山まつり

循環

地球環境

- ・日常生活の中で3Rを積極的にすすめ、ごみの減量化、資源の有効利用に取り組みましょう。
- ・お菓子の箱やトイレトペーパーの芯などの雑がみはごみとして捨てず古紙回収に出しましょう。
- ・節水に気をつけ、雨水を有効活用しましょう。
- ・不要な電気を消すなど節電を心がけましょう。
- ・災害への備えにもなる蓄電池、薪・ペレットストーブなどの導入を検討しましょう。



環境にやさしい日

人づくり

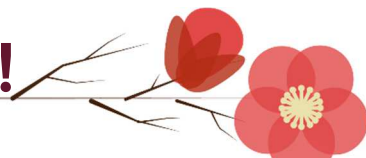
- ・講習会や観察会に積極的に参加するなど、環境について学びましょう。
- ・地域や学校などとの交流に積極的に参加・協力し、自然や歴史・文化など本市の豊かな地域資源を子どもたちに伝えましょう。

- ・環境に関する情報を積極的に収集し、理解を深めましょう。
- ・市などが行う情報収集に協力しましょう。



ヨシ行けどんどん作戦

TOPIC エコ・クッキングにチャレンジしよう！



わが国の食べられるのに捨ててしまう食品（食品ロス）の量は、2021 年度推計で年間 523 万 t となっており、日本人全員が毎日おにぎり 1 個を捨てていることになります。

この食品ロス削減の取組の一つとしてエコ・クッキングがあります。エコ・クッキングは、「買い物」「調理」「食事」「片づけ」の一連の流れを通して、環境にやさしい食生活を送ることをしています。こうした環境にやさしい食生活は、水やエネルギーの使用量削減、ごみの発生抑制、節約にもつながります。

次の取組を参考に、家族みんなでエコ・クッキングに挑戦してみませんか。

買い物

- ・地産地消を心がける
- ・旬の食材を使った献立を考える
- ・物を買すぎない
- ・買い物の際、マイバッグを持参する

調理

- ・食材はまるごと使いきる
- ・コンロにかける前に、鍋の水滴をふき取る
- ・鍋底の大きさに合った火加減にする
- ・鍋にふたをして熱を逃がさない

食事

- ・家族そろって食事をする
- ・食べる分だけの量をだし、食べ残しをしない



片付け

- ・油で汚れた食器は重ねない
- ・油汚れの少ないものから順に洗う
- ・鍋や皿の汚れは洗う前にふき取る
- ・洗い桶を活用する
- ・生ごみは水気を切ってする

TOPIC エコな暮らしで得よう！



1. エアコン

冷房を 28 度に設定した場合

節約 約 820 円/年
CO₂ 17.8kg/年 削減



暖房を 20 度に設定した場合

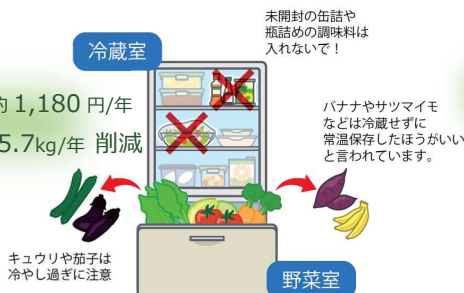
節約 約 1,430 円/年
CO₂ 31.2kg/年 削減



使用時間を減らしたり、着るものを工夫するなど、エアコンの使用時間や設定温度を適切に調整して過ごしましょう。

2. 冷蔵庫

節約 約 1,180 円/年
CO₂ 25.7kg/年 削減



ものを詰め込みすぎたりせず、熱いものは冷ましてから入れましょう。開け閉めを手早く行うとより省エネできます。

3. トイレ

節約 約 940 円/年
CO₂ 20.5kg/年 削減



使わないときは温水便座のフタを閉めましょう。また、暖房便座の温度を低めに設定しましょう。

4. 照明

蛍光灯の場合

節約 約 2,270 円/年
CO₂ 49.3kg/年 削減



電球型の場合

節約 約 2,430 円/年
CO₂ 52.8kg/年 削減

LED は長持ちしやすく長期間使用することができます。無駄な灯りは消し、照明のかさやカバーのこまめな掃除を心がけましょう。

5. 節水

節約 約 160 円/年（電気）
約 3,820 円/年（水道）
CO₂ 3.5kg/年 削減



節水も省エネにつながります。下水処理や家庭に水を送る時もエネルギーを使っています。出しっ放しに気を付けたり少量の水で済むように心がけましょう。

6. パソコン

デスクトップ型の場合

節約 約 850 円/年
CO₂ 18.5kg/年 削減



ノート型の場合

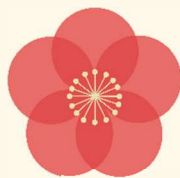
節約 約 150 円/年
CO₂ 3.2kg/年 削減



長時間使わないときは電源を切りましょう。パソコンの稼働状態の種類を理解しておくとうまく使えます。また、周辺機器の電源も切りましょう。

※節約、CO₂削減量は使用する家電などにより効果が異なる。

資料：資源エネルギー庁「家庭の省エネ徹底ガイド 春夏秋冬」（2017 年版）



みんなでできること ～事業者編～



自然環境

- ・事業活動を通じて山林や里山などの自然を保全するとともに、開発・造成工事の際には、自然環境に配慮しましょう。
- ・直売所や商店などを通じて積極的に地元でとれた農林水産物の流通・利用を図りましょう。
- ・地域食文化について積極的にチラシなどで発信しましょう。



生活環境

- ・事業活動や建設工事などの際は、騒音・振動対策を十分に行いましょう。
- ・工場や事業場からのばい煙や汚水の処理を適切に行い、公害の発生防止に努めましょう。
- ・資材調達、生産、流通、廃棄の各段階において公害が発生しないように、管理体制の充実と従業員の意識向上を図りましょう。
- ・市と環境保全協定を締結し、積極的に環境保全に取り組みましょう。



快適環境

- ・事業所内の緑地の確保や、緑化に努め、地域での緑化活動などにも積極的に参加・協力しましょう。
- ・CSR 活動（企業の社会的責任）として、積極的にまちづくり活動や環境美化活動に参加しましょう。
- ・市や市民と協力して空き家や空地の活用を検討しましょう。

循環

地球環境

- ・事業活動の中で3R（減らす・繰り返し使う・再生して使う）の取組をすすめましょう。
- ・節水に気をつけ、雨水を有効活用しましょう。
- ・不要な電気を消すなど節電を心がけましょう。
- ・エネルギー管理の徹底や省エネ性能の優れた設備の導入を検討しましょう。
- ・災害への備えにもなる蓄電池の導入を検討しましょう。
- ・環境に配慮している電力会社への切り替えを検討しましょう。



人づくり

- ・従業員への環境教育をすすめ、意識啓発に努めましょう。
- ・地域や学校が取り組む環境学習や活動へ参加・協力しましょう。
- ・地域や関連する環境関連団体の活動について支援・協力しましょう。

- ・市民や市、環境関連団体などつながりを持ち、協力して環境保全活動を行いましょう。
- ・社外に対して自社の環境関連情報を発信するとともに、市などが行う情報収集に協力しましょう。

